

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 5. 30

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（幡多小）田辺（福浜小）福井（伊島小）

【振動モーター】倉橋・福井

振動で動くおもちゃを倉橋先生と福井とが偶然にも同時に持ってきました。倉橋先生のはビットモーターという小型の充電式レーシングカーと歯ブラシの組み合わせで動き、福井のはハンディマッサージ器とたわしの組み合わせで動きます。また、振動モーターを用いて列車を動かすおもちゃも持ってきました。ボタンにより左右に動きます。



【風ゴマ】倉橋

上から吹くと回転を始め、更に強く吹くとびゅーんと舞い上がる「吹きゴマ」の新型を昨年の「科学の祭典東京大会」で仕入れて紹介してくれました。従来型よりも羽根が細長いのが特徴です。この方が揚力が大きいのかな？



【矢八・逆さコップ】田辺

いずれも手品のような数学のようなクイズです。

【笑う顔・怒る顔】福井

お札を山折り・谷折りにして遊ぶ有名なスナック芸を自分の顔で作ってみました。ぼーっとした顔がポイントです。



【ヒューヒュープレーン】福井

100円ショップで買ってきたおもちゃ。プラスチック製の飛行機にひもがついていて、カウボーイのようにブンブン回すとプロペラが回転しながら進行方向に向けて飛ぶように進む。プロペラを取ると向きが無茶苦茶になり不安定に飛ぶ。プロペラが飛行機の安定にどんな働きをしているのだろう。

【ソーダ水を作ろう】高松

虫歯予防週間に合わせて「お菓子の摂り方」に関する保健指導のプランを紹介してくれました。正論を大上段から押し付けるのではなく、5感を使った実験を通して気付かせるというやり方はなかなかのものです。

1. 市販のサイダーと炭酸水をひと口ずつ味見させる。
2. 紙コップにいれた炭酸水(180ml)にレモン果汁を入れ、4gのスティックシュガーを1本ずつ加えていく。
3. サイダーの味と同じになった時の砂糖の量を調べる。

実際にやってみると約20gで市販のサイダーと似たような味になりました。この約20gというのはなんと歯科医師会が言っている「子供がおやつとして摂ってもよい糖分の量」に等しいのです。自分の舌を使って導き出した数字は、何よりもインパクトがありました。これからは、保健指導も生徒指導も同和教育も、お説教したり押し付けたりするのではなくて、実験で決まりですね。

